

20周年記念イベント ※要入場料(一部を除く) 詳しい内容はウェブサイトをご確認ください。

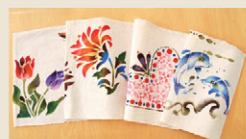
3月29日(日)

出展作家による
作品解説会
プレゼント付き
解説会入場券の
お申し込みは
こちらから



出展作家による作品解説会 10:30～ 1時間程度 ※出演作家はウェブサイトに掲載
入場料のみでご参加いただけます。

○予約制: プレゼント付き解説会入場券1,300円(先着50名)
出展作家による工芸品1点と、キッチンカーの食品券が付きます。



型染めグッズをつくろう(講師:染色作家 永廣武都子)
13:00～15:00(随時実施)
参加費(材料費)300円より(先着30名)
永廣氏制作の型紙を自由に組み合わせてトートバッグやハンカチなど、
素敵なグッズをつくります。



銅のしおりをつくろう(講師:銅アート 井上文子)
13:00～15:00(随時実施)
参加費(材料費)300円(先着20名)
厚さ0.15ミリの銅板を使って凹凸のあるしおりを作ります。
銅の酸化を利用して黒色に着色し、銅色に磨きだします。



世にも珍しい ローズレッドに輝く銅の鑄造に挑戦! 棒銅再現実演
(講師:新居浜工業高等専門学校 松英達也教授)
12:00～16:00 1時間～1時間半ごとに4回実施 入場料不要、見学無料
江戸時代、別子銅山の銅は鑄造の過程で偶然鮮やかなローズレッドに輝くものが現れ、
その美しさは世界で評価されました。謎に包まれたそのメカニズムを解明し、再現しよう
という試みです。

キッチンカー販売「ルリイロサンド」 10:00～15:30 食材にこだわったサンドイッチ

4月4日(土)

出展作家による
作品解説会
プレゼント付き
解説会入場券の
お申し込みは
こちらから



出展作家による作品解説会 10:30～ 1時間程度 ※出演作家はウェブサイトに掲載
入場料のみでご参加いただけます。

○予約制: プレゼント付き解説会入場券1,300円(先着50名) 出展作家による工芸品1点と、キッチンカーの食品券が付きます。



【公開制作】竹割り・竹ひご(小ひご)制作実演(竹工家 松田竹二郎)
13:30～14:30
習得するのに10年かかると言われる竹割り。自作の道具を使い、
1本の竹を割ってわずか1ミリの細く滑らかな小ひごをつくる職人技をご覧ください。



【公開制作】砥部焼ロクロ成形(砥部焼作家 池田富士夫・山田公夫)
13:30～15:00
砥部焼作家2名による公開制作。ロクロを使って土から次々に美しい器の形をつくる様子を
間近でご覧いただけます。

キッチンカー販売「R-KücheDelikatessen(アールキュッヒエデリカテッセン)」 10:00～15:30 台湾カステラ・フルーツサンド

4月5日(日)

ピックアップ出展作家による20周年記念座談会 13:30～ 1時間程度
入場料のみでご参加いただけます。
○予約制: プレゼント付き座談会入場券1,300円(先着30名)
出展作家による工芸品1点と、うみかぜkitchenのお菓子が付きます。



◀ピックアップ出展作家による
20周年記念座談会 プレゼント付き座談会入場券
お申し込みはこちら

軟水で淹れたコーヒー提供 13:00～16:00

栄養士がつくる、からだにやさしいお弁当&焼き菓子 出張販売「うみかぜkitchen」 11:00～16:00

4月29日(水・祝)

型染めグッズをつくろう(講師:染色作家 永廣武都子) 13:00～16:00(随時実施) ○参加費(材料費)300円より(先着30名)
永廣氏制作の型紙を自由に組み合わせてトートバッグやハンカチなど、素敵なグッズをつくります。

5月6日(水・振休)



金属を溶かしてオリジナルグッズをつくろう(講師:鋳金家 原田義明) 13:00～16:00
○参加費800円(予約制・先着20名) 対象年齢:11歳以上
粘土で好きな形をつくってそれをもとに鋳型をつくり、溶かした金属を流し込んで成形します。
アクセサリー、キーホルダー、箸置きなどが作れます。



◀「金属を溶かしてオリジナルグッズをつくろう」の
参加予約はこちら

工芸品販売 3月4日(水)～ 5月10日(日)

(最終日は16:00まで)
出展作家協力による工芸品を販売いたします。

次回
展覧会

三浦保・昭子 めおと展
～ 愛と信が織りなす世界

2026年5月17日(日)～6月14日(日)



MIURART VILLAGE
MIURART
ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)
〒799-2651愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL089-978-6838 FAX089-978-0323
https://www.miuraz.co.jp/miurart/
E-mail:miurart@miuraz.co.jp
アクセス
◆伊予鉄バス北条線「内宮」バス停下車 徒歩15分 ◆JR「堀江駅」
下車 徒歩25分 ◆松山空港から約11km ◆松山I.C.から約16km
◆今治I.C.から約35km
駐車場:30台と土・日・祝日は臨時駐車場(三浦工業福角駐車場約250台)
をご利用いただけます。

2026年3月4日(水)-5月10日(日)

休館日:月・火曜日(祝日は開館)／開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)
入場料:一般600円、高大生400円、中学生以下無料／※65歳以上の方はその証明書等の提示で400円
となります。※障がい者の方はその証明書等の提示でご本人と介護者が400円となります。

主催:ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)／協賛:株式会社ミウラ
後援:愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、
NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、
愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

MIURART VILLAGE
MIURART

第20回
えひめ
工芸作家展

第20回
えひめ
工芸作家展



第20回 えひめ 工芸作家展

20周年記念企画 第1期

このたび、ミウラート・ヴィレージでは、20周年記念企画 第1期「第20回えひめ工芸作家展」を開催いたします。毎年恒例の愛媛を中心に活躍している作家を紹介する本展は、20年という節目を迎えるにあたり、作家を半数に分け、第20回(第1期)、第21回(第2期)の2年にわたって記念企画展を開催いたします。ピックアップ出展作家が新作に加え、これまでは出すことができなかった大作や制作の節目の作品などを展示し、えひめの工芸作家をより深くご紹介します。皆様のご来館をお待ちしております。

第1期 ピックアップ出展作家



《春宵》2005年
愛媛信用金庫蔵



砥部焼作家
池田富士夫

砥部焼「龍泉窯」の創業者。清流をテーマにした作品のほか、砥部では数少ない薪窯による自然釉の作品も手掛ける。

《Red star》2018年



《まつりー喜び》
2019年



銅アート
井上文子

銅板に凹凸をつけ迫力ある銅アートを制作。酸化や磨きだしにより、銅のもつ発色を幅広く引き出す。

《一音の幸せ》2025年



《春の小径》2011年



人形作家
赤松絵里

たなびく風、女性の優美な姿を捉える人形作家。仏像彫刻も制作し、上品で慈しみ溢れる表情をつくる。

《そよ吹く風 明日へ》2025年



《Breathe: 萌芽》
2023年



鋳金家
原田義明

鋳金技法を専門とし、自在に形をつくる。時には陶土やガラス等も組み合わせ、水や自然をテーマに制作する。

《水のイメージIX: Floating water》2025年



《拭拭漆螺鈿机》兒玉高次 1991年 個人蔵

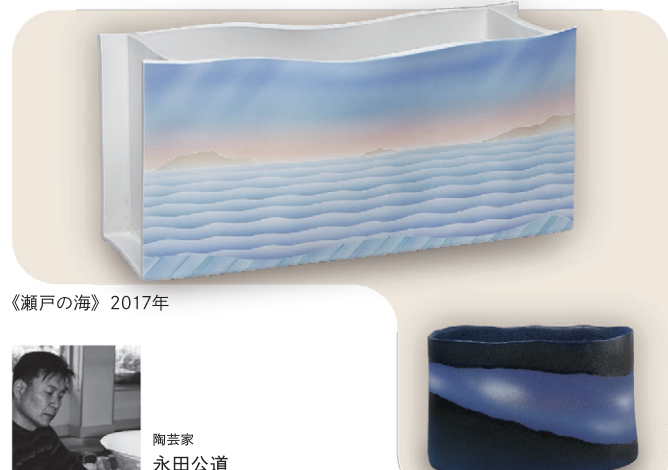


木工家 兒玉高次
漆芸家 兒玉日南子

木地を高次が、漆を日南子が手掛ける。生き物である木や漆の声に耳を傾け、生命を活かした作品に仕上げる。



《細線木画箱「回転木馬」》兒玉高次
2018年



《瀬戸の海》2017年



陶芸家
永田公道

何色もの化粧土を吹き付ける繊細なグラデーションで、瀬戸内海や宇宙など、希望に満ちた夢のような世界を描く。

《宇宙の彼方へ》2016年



《悠》1995年



竹工家
松田竹二郎

竹という素材と向き合い、丁寧な使いやすい日用品から、繊細かつ大胆な造形の芸術作品まで竹を巧みに扱う。

《花綱代 25-2》2025年

出展作家



《ギンカクラゲ》2025年
染色美術家 宇野貴美恵

《ブラックホールの核》2025年
陶芸家 芥川正明



《釉象嵌線文鉢》2025年
砥部焼陶芸家 二宮好史



《裾》2018年 陶芸家 松谷文生